

高い山で生活するたくさんの工夫



ニホンライチョウは、山の高いところの草の下などにかんたんな巣をつくり、卵をうみます。ライチョウはニワトリなどの鳥より成長が早いです。雪がふる前に大きくなないと、小さい体では冬をのりこえられないからです。子どもは親からはなれるとしんでしまいます。まだ自分で体温を保つことができないからです。

冬になると雪の中にもぐります。雪の中には空気が入っていて、外のつめたい空気がかんたんに入ってこないからです。冬が終わると植物も育ちはじめ、山の低い所でくらしていたライチョウが上にもどってきます。

羽根は3回かわります。冬は雪の色、夏は土の色です。まわりと大体同じ色になると、天てきのイヌワシといった動物に見つかりにくくなるからです。

もう一つすごいことがあります。盲腸の働きが発達しています。30センチぐらいの盲腸が2本入っていて、食べたものをよく消化できるようになっています。

ライチョウはその場所で生活していけるように、たくさんの工夫がありました。

長野市5年 駒木希美記者



7、8月は無休だよ! 市立大町山岳博物館



常設展示は「北アルプスの自然と人」がテーマ。天気が良いと、展望ラウンジから北アルプスの山なみが見えます。



午前9時～午後5時
 観覧料 大人400円 高校生300円
 小中学生200円
 大町市大町8056-1 ☎0261・22・0211
 休館日 月曜日、祝日の次の日、年末年始

ニホンライチョウは2000羽以下



山岳博物館は、ニホンライチョウの生活を調べに、北アルプスの爺ヶ岳に行きました。現地で調べるだけでは分からないことがたくさんあったので、山岳博物館でも約40年間かかっていました。

今は、ニホンライチョウに近い種類のスバルライチョウをかって練習をして、ニホンライチョウを育てることができるようになっています。スバルライチョウはノルウェーなどの寒いところにたくさんすんでいて、かっている部屋は18～20度になっています。

ニホンライチョウの数は2000年には3000羽でしたが、今では2000羽以下にへっています。大事にしたいです。

松本市4年 矢口遼馬記者

講師の宮野典夫先生

山博の指導員、前館長



みなさんの記事を読ませてもらい、「なぜ」「どうして」と考え、うまくまとめているなあと思いました。どうして、なぜだろう、という疑問を持つことは、私達博物館のやることと同じです。また来てくださいね。

わたしのおすすめ ひんやりスイーツ



こども記者のみんなからよせられた、夏にぴったりな冷たいスイーツをしょうかいします。暑い日のおやつに、いかが…?



優美ジェラート

おらせたかたものに、牛乳かヨーグルトか豆乳を入れて、はちみつも入れてミキサーで好きなかたさになるまでまぜるとおいしいです。うちでは「優美ジェラート」とよんでいます。みんなも作ってみてください!

私はフルーツが大好きで、一番好きなのはピーチ味です。かんたんだし、フルーツやクリームをかざるとごうかでおいしいです。



上田市4年 上原優美

ミルクプリン

去年の夏休みに、夏休み帳の宿題で作ったミルクプリン。フルーツとクリームで飾り付け、ひんやりプリンと美味しくて、家族にも大好評でした。



- | | |
|-------------|--|
| ★材料★ | ★作り方★ |
| 粉ゼラチン 5グラム | ①粉ゼラチンを水でふやかしておく(10分くらい) |
| 水 25cc | ②なべに牛乳、生クリーム、さとうを入れ火にかける。全体が温まりさとうがとけたら火からおろし、①を加えてかきまぜながらとろく。バニラエッセンスを加える |
| 牛乳 200cc | ③②をカップにそそぎ入れ、冷蔵庫で冷やし固める(2～3時間) |
| 生クリーム 100cc | ④③の上に好きなフルーツをかざってできあがり! |
| さとう 30グラム | |
| バニラエッセンス 少々 | |
| 好きなくだもの | |

長野市4年 小林可乃

カルピス寒天ゼリー

- | | |
|--------------|--------------------|
| ★材料★ | ★作り方★ |
| カルピス原液 150ml | ①お湯に粉寒天をとろかす |
| 牛乳 200ml | ②そこにカルピスと牛乳を入れてまぜる |
| お湯 100ml | ③好きなフルーツを入れる |
| 粉寒天 2グラム | ④冷蔵庫で固めてできあがり |



ほかにもコーヒーゼリーなど、おやつ作りをしています

長野市5年 奥村原味

みんなもこども新聞へのアイデアをよせてね!

7月25日付信毎こども新聞1ページ目の「フルーツパフェ作り」は、「冷たいスイーツの作り方を新聞で特集してほしい」という意見を、読者の女の子が編集部によせてくれたことがきっかけで実現しました。みんなも、こども新聞紙上でやってみたいこと、とりあげてほしいテーマなど自由にアイデアをよせてください。お待ちしております!

茶花ぼこさん



まんが教室

参加者 ぼ集

長野市出身のまんが家、茶花ぼこさんの「まんが教室」を、長野市の信毎本社で開きます。小学生の部は「たまごの中身は何かな?」のお題で、テンポのよい3コマまんがをつくりまします。定員までじゃっかんのよゆうがあります。希望者はお申しこみください。

日時 2015年8月5日(水) 午後2時～4時半 参加無料

定員 20人(先着順)

申し込みは①名前とふりがな②学年③生年月日④郵便番号・住所⑤電話番号⑥保護者名を記入して、ファクス(026・236・3193)かメール(e-chiiki@shinmai.co.jp)で、まんが教室係へ。